

## 非結核性抗酸菌症の治療を行っている患者様へ



天竜病院では、現在の治療で効果不十分な非結核性抗酸菌症（MAC 症）の患者様を対象に「アリケイス吸入液」が使えるようになりました。アリケイス吸入液は、従来の静脈内投与と比較して、肺への到達度がより高く、かつ MAC 菌に感染した細胞へ届きやすい特徴を持ち、とても期待されています。しかし、いくつかの注意点もあり治療開始においては、主治医と患者様とで十分な検討を重ねた上で選択する必要があります。

### 医療費について

医療費が高額になります。アリケイス吸入液は、毎日 1 回吸入を行います。が、医薬品の薬価が約 4 万円と高額です。さらに吸入を行う上で必要な吸入器やメンテナンス用の機材も必要となります。



医療費については、高額療養費制度を活用するために地域連携室の医療相談員 (MSW) が制度の説明と申請方法の説明・支援を行います。

### 吸入器の使用方法

吸入手技が少し複雑です。アリケイス吸入液は、吸入するために専用の吸入器（以下ラミラ）が必要となります。ラミラは、毎日の吸入後に分解洗浄・消毒・乾燥の手順でメンテナンスを行う必要があります。週に 1 回、超音波洗浄機を用いる洗浄も行います。



吸入手技については、薬剤師が担当します。パンフレットや練習機を用いた実演・指導を行い吸入手技獲得の支援を行います。

### 入院期間のスケジュール(クリニカルパス)について

吸入が正しく出来ることを目標とした多職種が介入する入院期間のスケジュールを作成しています。1 週間の入院期間中に薬剤師による手技練習や看護師による見守り・支援などを行っています。さらに特徴として、吸入手技獲得だけではなく理学療法士・作業療法士が担当する「呼吸リハビリ」や栄養士が担当する「栄養指導」の要素を取り入れ患者様がお自宅に帰られた後に有益な知識・運動も獲得できるようにしています。

